



令和7年度

教育訓練実施計画

福井県消防学校

# 校訓

## 誠 実

勇気と忍耐力を培い、誠実に  
学術習得に努める。

## 責 任

消防の職務を正しく認識し、  
住民の期待と信頼にこたえる。

## 規 律

規律の厳正と士気の高揚に  
努める。

# 目 次

## 第1 教育訓練実施要領

1 令和7年度 教育訓練実施計画総括表	1
2 令和7年度 教育訓練月別実施計画表	2
3 令和7年度 消防(局)本部別入校予定者数	3
4 教育訓練の教科目および時間数	4

## 第2 入校・受講手続き要領

1 入校・受講手続き	1 2
2 入校者への通知	1 2
3 入校・受講関係書類提出上の注意事項	1 3
4 令和7年度 入校・受講手続一覧表【別紙1】	1 4
5 令和7年度 学生会計入校所要経費一覧表【別紙2】	1 5
6 消防学校入校生携行品一覧表【別紙3】	1 6

## 第3 入校関係書類

1 入校推薦書【別紙4、4-2】	1 7
2 入校推薦書(公開講座用)【別紙5】	1 9
3 入校推薦書(一般教育用)【別紙6】	2 0
4 身上調書【別紙7】	2 1
5 事例研究資料【別紙8】(別添 事例区分一覧表)	2 2
6 健康状況に関する申告書【別紙9】	2 4
7 食事注文表【別紙10】	2 5



令和7年度 教育訓練実施計画総括表

教育訓練の種類	教育期間	教育実日数	教育時間数	入校予定者数	入校対象基準
初任教育	第60期 7. 4. 3(木)～9. 25(木)	119	828	45	各消防本部(局)に新規採用された消防士および所属消防長が推薦した者
幹部教育	初級幹部科 第46期 7. 12. 1(月)～12. 12(金)	10	70	17	消防士長以上の階級にある者
	中級幹部科 — 隔年実施	—	—	—	消防司令補以上の階級にある者
	上級幹部科 第18期 7. 6. 17(火)～6. 19(木)	3	21	19	消防司令以上の階級にある者(相当職を含む。)
	警防科 — 隔年実施	—	—	—	警防業務従事者または従事予定者
	特殊災害科 第12期 7. 11. 11(火)～11. 19(水)	7	49	17	消防士長以上の階級にある者で指導的立場にある者
	予防査察科 第21期 8. 2. 12(木)～2. 26(木)	10	70	16	予防、査察業務従事者または従事予定者
	危険物科 第37期 8. 1. 7(水)～1. 16(金)	7	49	17	危険物規制事務従事者または従事予定者
	火災調査科 — 隔年実施	—	—	—	火災調査業務従事者または従事予定者
	救助科 第49期 7. 10. 6(月)～11. 7(金)	23	161	19	救助業務従事者または従事予定者
	救急科 第33期 8. 1. 21(水)～3. 13(金)	36	252	50	救急業務従事予定者
消防職員	水難救助科 第29期 7. 7. 8(火)～7. 24(木)	12	84	18	水難救助業務従事者または従事予定者
	通信指令科 第1期 7. 5. 27(火)～5. 29(木)	3	21	21	通信指令業務従事者または従事予定者
	特別講座等 — 上級幹部科、特殊災害科、危険物科、救急科に併設の予定	4	16	142	別途通知
	操法指導員教育 7. 4. 16(水)～4. 17(木)	2	14	32	ポンプ操法の指導業務従事者または従事予定者
	起震車操作員教育(新規養成) 別途通知(初任教育期間中)	1	3	21	起震車の操作運用業務従事予定者
	初級幹部科 7. 11. 8(土)～11. 9(日)	2	12	49	班長(分団の組織実情に応じ、部長を含む。)
	指揮幹部科 —	—	—	—	—
	現場指揮課程 7. 11. 22(土)～11. 23(日)	2	14	32	部長・部長と同等の実務経験を有する班長(分団の組織実情に応じ、分団長及び副分団長を含む。)
	分団指揮課程 7. 12. 6(土)～12. 7(日)	2	10	36	分団長・副分団長(過去の「中級幹部科」修了者を除く外、分団の組織実情に応じ、部長を含む。)
	消防団員指導員研修(日消) 7. 10. 25(土)～10. 26(日)	2	12	18	幹部で団員の指導に携わる者
女性防火クラブ員教育(1日×1回) 7. 10. 5(日)	1	6	33	女性防火クラブのリーダー的な立場にある者	
その他	合計	246	1,692	602	



# 令和7年度 消防(局)本部別入校予定者数

令和7年2月10日現在

区分	局・本部別 教育訓練の種類		消 防 (局) 本 部 名										
			福井	敦賀 美方	南越	若狭	大野	勝山	鯖江 丹生	嶺北	永平寺	合計	
消防職員	初任教育 (第60期)		10	3	5	5	4	1	9	7	1	45	
	幹部教育	初級幹部科 (第46期)	4	2	2	2	1	1	2	2	1	17	
		中級幹部科 (隔年実施)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
		上級幹部科 (第18期)	4	2	2	3	1	2	2	2	1	19	
		警防科 (隔年実施)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
	専科教育	特殊災害科 (第12期)	4	2	2	2	1	1	2	2	1	17	
		予防査察科 (第21期)	4	2	1	2	1	1	2	2	1	16	
		危険物科 (第37期)	4	2	2	2	1	1	2	2	1	17	
		火災調査科 (隔年実施)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	
		救助科 (第49期)	4	2	2	2	1	1	2	4	1	19	
		救急科 (第33期)	16	6	10	4	2	1	3	8	-	50	
		特別教育	水難救助科 (第29期)	5	2	2	2	-	-	2	4	1	18
			通信指令科 (第1期)	5	4	2	2	1	1	2	2	2	21
			特別講座等	40	20	20	16	5	10	12	16	3	142
			操法指導員教育	5	4	4	4	2	2	4	4	3	32
	起震車操作員教育 (新規養成)	5	4	3	2	1	-	2	4	-	21		
小 計		110	55	57	48	21	22	46	59	16	434		
消防団員	初級幹部科 (2日×1)	12	7	3	9	7	2	2	4	3	49		
	指揮幹部科	現場指揮課程(2日×1)	5	5	3	4	3	2	4	4	2	32	
		分団指揮課程(2日×1)	5	5	3	8	2	2	4	4	3	36	
	団員指導員研修(日消) (2日×1)	1	3	3	4	1	1	2	2	1	18		
	小 計		23	20	12	25	13	7	12	14	9	135	
その他	女性防火クラブ員教育 (1日×1)	12	-	7	2	-	2	4	5	1	33		
	小 計		12	0	7	2	0	2	4	5	1	33	
合 計		145	75	76	75	34	31	62	78	26	602		

# 教育訓練の教科目および時間数

消防職員

## 1 初任教育

初任教育（第60期）【教育期間 令和7年4月3日（木）～9月25日（木）】 119日

消防職員として必要な基礎知識の習得および技術の練成ならびに規律心と気力・体力の涵養を図る。

種目	教科目	時間数
基礎教育	倫理	5
	法学基礎・消防法	20
	消防組織制度	9
	服務と勤務	28
	消防理化学	10
実務教育	予防広報	20
	危険物	10
	消防用設備	12
	査察	27
	建築	10
	安全管理	16
	特殊災害と保安	10
	火災防ぎよ	30
	火災調査	15
	防災	23
	救急	50
	消防機械・ポンプ	10
	実科訓練	訓練礼式
消防活動訓練		82
救助		45
機器取扱訓練		55
消防活動応用訓練		120
体育		59
その他	実務研修	28
	選択研修	15
	行事、その他	65
合計		828

## 2 幹部教育

(1) 初級幹部科（第46期）【教育期間 令和7年12月1日(月)～12月12日(金)】10日

初級幹部として必要な指揮能力と指導力の向上を図る。

教 科 目	時間数
講 話	4
訓 練 礼 式	2
消 防 時 事	10
消 防 財 政	3
人 事 業 務 管 理	12
安 全 管 理	6
現 場 指 揮	15
事 例 研 究	15
行 事 、 そ の 他	3
合 計	70

(2) 上級幹部科（第18期）【教育期間 令和7年6月17日(火)～6月19日(木)】3日

上級幹部として必要な教養と指揮能力の向上を図る。

教 科 目	時間数
管 理 職 の 役 割	2
業 務 管 理	3
人 事 管 理	3
危 機 管 理	3
事 例 研 究	8
行 事 、 そ の 他	2
合 計	21

### 3 専科教育

(1) 特殊災害科（第12期）【教育期間 令和7年11月11日(火)～11月19日(水)】 7日

特殊災害活動に必要な専門的な知識と高度な技術の向上を図る。

教 科 目	時間数
講 話	1
特 殊 災 害 の 概 論	4
危険性物質に係る基礎知識および関係法令	15
特殊災害に対する消防活動要領	14
特殊災害時における安全管理	5
図 上 訓 練	7
効 果 測 定	2
行 事 、 そ の 他	1
合 計	49

(2) 予防査察科（第21期）【教育期間 令和8年2月12日(木)～2月26日(木)】 10日

火災予防および査察業務に関する専門知識ならびに技能の向上を図る。

教 科 目	時間数
講 話	1
予 防 査 察 行 政 の 現 状 と 課 題	4
消 防 同 意	4
査 察	24
危 険 物 規 制	7
違 反 処 理	14
査 察 実 習	7
事 例 研 究 ( 視 察 を 含 む )	6
効 果 測 定	2
行 事 、 そ の 他	1
合 計	70

(3) 危険物科 (第37期) 【教育期間 令和8年1月7日(水)～1月16日(金)】 7日

危険物規制事務に関する専門知識および技能向上を図る。

教 科 目	時間数
講 話	1
危険物行政の現状と課題	2
危険物化学	5
危険物規制	20
理化学実験	6
事例研究	5
基礎科学	8
効果測定	1
行事、その他	1
合 計	49

(4) 救助科 (第49期) 【教育期間 令和7年10月6日(月)～11月7日(金)】 23日

救助隊員として必要な専門知識および技術の向上を図る。

教 科 目	時間数
講 話	1
安全管理(視察を含む)	21
災害救助対策	21
救 急	6
救助器具取扱訓練	22
救 助 訓 練	47
総 合 訓 練	34
体 育	4
効果測定	4
行事、その他	1
合 計	161

(5) 救急科 (第33期) 【教育期間 令和8年1月21日(水)～3月13日(金)】 36日

救急隊員に必要な医学の基礎知識、観察、判断能力および応急処置の専門技術の向上を図る。

教 科 目	時間数
救急業務および救急医学の基礎	51
応急処置の総論	69
病態別応急処置	72
特殊病態別応急処置	20
実 習 及 び 行 事	40
合 計	252

#### 4 特別教育

(1) 水難救助科 (第28期) 【教育期間 令和7年7月8日(火)～7月24日(水)】 12日

水難救助隊員に必要な専門知識と技術の向上を図る。

教 科 目	時間数
講 話	1
安 全 管 理	3
水 難 救 助 対 策	2
潜 水 理 論	9
救 急	4
基 本 泳 法	2
溺 者 救 助 ・ 搬 送 訓 練	12
複 合 検 索 訓 練	5
水 中 結 索 訓 練	2
潜 水 基 本 訓 練	16
水 難 救 助 器 具 取 扱 訓 練	2
応 用 訓 練	10
総 合 訓 練	11
効 果 測 定	3
行 事 、 そ の 他	2
合 計	84

(2) 通信指令科 (第1期) 【教育期間 令和7年5月27日(火)～5月29日(木)】 3日

通信指令員に必要な専門知識と技術の向上を図る。

接 遇	2
医 学 的 知 識	3
情 報 管 理	10
想 定 訓 練	4
行 事 、 そ の 他	2
合 計	21

(3) 操法指導員教育【教育期間 令和7年4月16(水)～4月17日(木)】 2日

消防ポンプ操法の指導者を養成する。

教 科 目	時間数
消 防 ポ ン プ 操 法	12
行 事 、 そ の 他	2
合 計	14

(4) 起震車操作員教育（新規養成）【教育期間 初任教育期間中】 1日

起震車の操作員として必要な知識と運用技術を習得させる。

教 科 目	時間数
起 震 車 の 取 扱	3
行 事 、 そ の 他	
合 計	3

(5) 特別講座等

※実施日時等は決定後に別途通知する。

## 消防団員

### 1 幹部教育 初級幹部科

【教育期間 令和7年11月8日(土)～11月9日(日)】 2日

消防団員の初級幹部としての消防活動に必要な知識、技術および指揮能力を養成する。

教 科 目	時間数
講 話	1
訓 練 礼 式	1
現 場 指 揮	3
防 災	2
防 災 指 導 要 領	2
安 全 管 理	2
行 事 、 そ の 他	1
合 計	12

### 2 幹部教育 指揮幹部科

(1) 現場指揮課程 【教育期間 令和7年11月22日(土)～11月23日(日)】 2日

消防団員の幹部として現場指揮に必要な知識を養成する。

教 科 目	時間数
講 話 ・ 現 場 指 揮 ・ 安 全 管 理	1
火 災 防 ぎ よ 訓 練	2
水 災 活 動 訓 練	2
救 助 ・ 救 命 訓 練	4
避 難 誘 導 訓 練	2
災 害 情 報 収 集 ・ 伝 達 訓 練	1
地 域 防 災 指 導 訓 練	1
行 事 、 そ の 他	1
合 計	14

(2) 分団指揮課程 【教育期間 令和7年12月6日(土)～12月7日(日)】 2日

消防団員の幹部として必要な指揮活動能力を養成する。

教 科 目	時間数
講 話 ・ 組 織 制 度 ・ 安 全 管 理	2
防 災	3
災 害 対 応 図 上 訓 練	2
事 例 研 究	2
行 事 、 そ の 他	1
合 計	10

一般 その他の教育

女性防火クラブ員教育

【教育期間 令和7年10月5日(日) 1回実施】

女性の防火、防災知識と防災技術の向上を図る。

教 科 目	時間数
防 災 実 情 ・ 図 上 訓 練	2
実 科 訓 練 ( 救 命 講 習 )	3
行 事 、 そ の 他	1
合 計	6

## 第3 入校・受講手続き要領

### 1 入校・受講手続き

#### (1) 入校者および受講者の選定

入校推薦者（消防長等）は、「教育訓練実施計画総括表」に定める入校対象基準に基づき、推薦する者に関する入校・受講関係書類を、所定の期日までに学校長あて提出すること。

#### (2) 入校・受講手続き事務

ア 入校・受講関係書類は、別紙1「入校・受講手続一覧表」（14ページ）に定めるところにより、入校書類受付締切日（入校日から約2カ月前）までに、消防学校へ提出すること。

イ 入校および受講予定者がいない科ならびに講習は、FAX等でその旨を通知すること。

#### (3) 入校・受講手続きに関する提出書類

ア 「入校推薦書」・・・・・・・・・・【別紙4】【別紙4-2】

イ 「入校推薦書（公開講座用）」・・・・・・・・【別紙5】

ウ 「入校推薦書（一般教育用）」・・・・・・・・【別紙6】

エ 「身上調書」・・・・・・・・・・・・・・・・【別紙7】

オ 「事例研究資料」・・・・・・・・・・・・【別紙8】

カ 「健康状況に関する申告書」・・・・・・・・【別紙9】

キ 「健康診断書（写）」・・・・・・・・・・診断医療機関任意の様式

ク 「食事注文表」・・・・・・・・・・・・【別紙10】

#### (4) 入校決定および受講承認

学校長は、入校・受講関係書類を審査選考の上、「入校決定通知書」により入校推薦者に通知する。

#### (5) 入校決定後における入校者の辞退および変更の手続き

ア 消防職員教育は、やむを得ない場合に限り入校日7日前まで（初任教育においては1カ月前まで）に、速やかに該当者の階級・氏名を任意の書式により提出すること。

なお、変更については、前記（2）アに定める書類も併せて提出すること。

イ 消防団員・一般その他教育は、入校日7日前までにFAX等で通知すること。

#### (6) 入校・受講経費の手続き

入校・受講経費の手続きは、別紙2「学生会計入校所要経費一覧表」（15ページ）を確認し、入校日までに納入すること。（初任教育については、別途通知する日）

### 2 入校者への通知

消防本部等の担当者は、入校者に対し次の事項について周知すること。

#### (1) 教育科目および時間数（4～11ページ）に該当する教育訓練種類の記載事項を確認し、

別紙3「消防学校入校生携行品一覧表」（16ページ）に基づく携行品等を準備すること。

#### (2) 登下校時の服装は、スーツ等を着用し、学生として相応しい服装とすること。

### 3 入校・受講関係書類提出上の注意事項

#### (1) 「入校推薦書」【別紙4～6】

- ア 別紙4は、消防職員の各教育用とする。
- イ 別紙4-2は、消防団員幹部教育用とする。
- ウ 消防(局)本部・団体は、条例に規定する名称を正確に記入すること。
- エ 階級上位の者から記載すること。
- オ 氏名欄は戸籍上の正式な氏名を記載すること。
- カ 現職務は、担当係名まで記入すること。
- キ 「年齢」は、入校日を基準とする。

#### (2) 「身上調書」【別紙7】

- ア 必ず入校者本人が記載すること。
- イ 写真(デジタル撮影可)は、脱帽のうえ上半身のみで入校日6カ月以内に撮影したものを(縦4cm×横3cm)を貼付すること。
- ウ 年齢は、入校日を基準とする。
- エ 性格等は、自己の性格について自己診断のうえ記入すること。  
(記載例:明朗、温和、のんき、神経質、社交的、短気、堅実、理論的、協調的等)

#### (3) 「事例研究資料」【別紙8】

- ア 入校推薦書に添えて提出すること。
- イ 添付資料は、簡潔に必要な最小限とすること。
- ウ 別添「事例区分一覧表」により、事例区分を選択すること。

#### (4) 「健康状況に関する申告書」【別紙9】

- ア 必ず入校者本人が記載すること。
- イ 直近の健康診断等の結果を正確に記載すること。

#### (5) 「健康診断書(写)」〔診断書は診断医療機関任意の様式とする。〕

- ア 医療機関で実施したものであること。
- イ 入校日前6カ月以内に実施したものであること。  
※提出する「健康診断書(写)」には、「原本と相違ないことを認証する。」という証明文、証明年月日および入校推薦者の役職・氏名を記載して公印を押印すること。
- ウ 診断項目は、「身長」「体重」「胸囲」「視力」「聴力」「色神」「血圧」「尿検査結果」「胸部X線検査結果」「心電図検査結果」「運動機能」「既往症(てんかん他)」「その他特記事項(持病等)」とすること。

#### (6) 「食事注文表」【別紙10】

- ア 変更が生じた場合は、教育日の前日(土日を除く)までにFAX等にて通知すること。
- イ 原則として、消防(局)本部単位とすること。ただし、領収書についてのみ団体単位での発行を可能とする。

令和7年度 入校・受講手続一覧表

教育訓練の種類	入校日	入校書類受付締切日	入校決定通知	入校関係書類								
				入校推薦書	身上調査書	事例研究資料	健康状況に関する申告書	健康診断書	食事等注文表			
消防職員	初任教育	第60期	令和7年 4月 3日 (木)	令和7年 1月 24日 (金)	令和7年 3月中旬	○別紙4				○		
	幹部教育	初級幹部科	第46期	令和7年 12月 1日 (月)	令和7年 9月 26日 (金)	令和7年 11月上旬	○別紙4					
		中級幹部科	隔年実施									
	専科教育	上級幹部科	第18期	令和7年 6月 17日 (火)	令和7年 4月 18日 (金)	令和7年 5月中旬	○別紙4					
		警防科	隔年実施									
	消防職員	専科教育	第12期	令和7年 11月 11日 (火)	令和7年 9月 12日 (金)	令和7年 10月中旬	○別紙4				○	
			第21期	令和8年 2月 12日 (木)	令和7年 12月 12日 (金)	令和8年 1月中旬	○別紙4				○	
			第37期	令和8年 1月 7日 (水)	令和7年 11月 7日 (金)	令和7年 12月中旬	○別紙4				○	
			隔年実施									
			救助科	第49期	令和7年 10月 6日 (月)	令和7年 8月 8日 (金)	令和7年 9月上旬	○別紙4				○
特別教育	救急科	第33期	令和8年 1月 21日 (水)	令和7年 11月 21日 (金)	令和7年 12月下旬	○別紙4				○		
		第29期	令和7年 7月 8日 (火)	令和7年 5月 9日 (金)	令和7年 6月中旬	○別紙4				○		
	通信指令科	第1期	令和7年 5月 27日 (火)	令和7年 4月 11日 (金)	令和7年 5月上旬	○別紙4				○		
		特別講座等		別途通知	別途通知	推薦者全員入校	○別紙5					
	起震車操作員教育 (新規養成)	操作員教育		令和7年 4月 16日 (水) 令和7年 4月 17日 (木)	ボンプ車 小型ボンプ	令和7年 4月 4日 (金)	令和7年 4月上旬	○別紙4				
		初級幹部科 (2日×1)		令和7年 11月 8日 (土)		令和7年 9月 5日 (金)	令和7年 10月上旬	○別紙4-2			○	
	消防団員	幹部教育	現場指揮課程 (2日×1)	令和7年 11月 22日 (土)	令和7年 9月 19日 (金)	令和7年 10月下旬	○別紙4-2				○	
			分団指揮課程 (2日×1)	令和7年 12月 6日 (土)	令和7年 10月 3日 (金)	令和7年 11月上旬	○別紙4-2				○	
	女性防火クラブ員教育 (1日×1)	特別教育	団員指導員研修 (日消) (2日×1)	令和7年 10月 25日 (土)	別途調整	別途調整						
			女性防火クラブ員教育 (1日×1)	令和7年 10月 5日 (日)	令和7年 8月 1日 (金)	推薦者全員入校	○別紙6				○	

## 令和7年度 学生会計入校所要経費一覧表

教育訓練の種類		教育 実日数	教育 時間数	食費	教材費	研修費	共通費	合計額	備考	
初任教育		119	828	184,600	124,090	38,000	42,660	389,350	教材費には体育用ウェア等を含む	
幹部 教育	初級幹部科	10	70	—	3,490	—	1,000	4,490		
	中級幹部科	—	—	—	—	—	—	—	隔年実施	
	上級幹部科	3	21	—	1,600	—	300	1,900		
専 科 教 育	警防科	—	—	—	—	—	—	—	隔年実施	
	特殊災害科	7	49	—	5,100	—	2,900	8,000		
	予防査察科	10	70	—	6,230	—	1,000	7,230		
	危険物科	7	49	—	4,810	—	700	5,510		
	火災調査科	—	—	—	—	—	—	—	隔年実施	
	救助科	23	161	—	19,200	—	4,500	23,700		
	救急科	36	252	—	12,830	870	3,600	17,300		
特 別 教 育	水難救助科	12	84	—	2,830	—	23,250	26,080		
	通信指令科	3	21	—	1,200	—	300	1,500		
	特別講座等	6	24	—	—	—	—	—	専科教育等に併設	
	操法指導員教育	2	14	—	700	—	200	900		
	起震車操作員教育	1	3	—	700	—	100	800		
団 幹 部 教 育	初級幹部科	2	12	—	700	—	200	900		
	指揮 幹部科	現場指揮課程	2	14	—	1,200	—	200	1,400	
		分団指揮課程	2	10	—	700	—	200	900	

## 【備考】

※教材費は、教科書代、教育資料作成費、訓練資機材費、振込手数料、体育用トレーニングウェア等費用の合計額

○教育資料作成費：初任教育 17,650円、その他の教育 700円

○訓練資機材費：初級幹部科 780円、上級幹部科 900円、危険物科 2,500円、救助科 16,250円、救急科 1,000円、通信指令科 500円、現場指揮課程 500円

○体育用トレーニングウェア等費用（初任教育のみ）44,610円

※共通費は、共益費、空気ボンベ充填料の合計額

○共益費は、初任教育1日340円、その他の教育1日100円

○空気ボンベ充填料：初任教育 2,200円、特殊災害科 2,200円  
救助科 2,200円、水難救助科 22,050円

## 消防学校入校生携行品一覧表

携行品		防火衣一式	制服・制帽・黒短靴	活動服・アポロキャップ	救助服・救助帽	耐切創性手袋・皮手袋	感染防止衣	ゴーグル	編み上げ靴・保安帽	ゴム長靴	運動用シューズ（屋内・屋外）	トレーニングウエア	上履き用サンダル	印鑑	筆記用具・ノート	消防手帳	健康保険証	体温計	水泳用具・潜水用具一式	寮生活宿泊用品一式	関係法令集	その他の携行品等			
教育訓練の種類																									
消防職員教育	初任教育	○	○	○		○			○		○	○	○	○	○	○	○	○		○		雑巾、軍手 白手袋、マスク スクイズボトル(1L)			
	幹部教育	初級幹部科	○	○	○					○		○			○	○	○					○			
		中級幹部科		○	○					○		○			○	○	○						○		
		上級幹部科		○								○			○	○	○								
	専科教育	警防科	○	○	○		○			○		○			○	○	○						○	警笛	
		特殊災害科	○	○	○		○		○	○		○			○	○	○						○	警笛	
		予防査察科		○								○			○	○	○						○		
		危険物科		○	○				○			○			○	○	○						○		
		火災調査科		○	○							○			○	○	○						○		
		救助科	○	○		○	○			○	○		○			○	○	○						○	備考欄を参照すること。
		救急科		○	○			○	○	○		○			○	○	○							○	
	特別教育	水難救助科		○	○							○	○	○	○	○	○		○	○				学校備品を一部貸与 (潜水用具)	
		通信指令科		○	○							○			○	○	○								
		特別講座等																						別途通知	
		操法指導員教育			○							○				○									
起震車操作員教育				○											○										
消防団員	幹部教育	初級幹部科			○	○			○	○	○				○								軍手		
		指揮幹部科	現場指揮課程			○	○			○	○	○				○								軍手	
			分団指揮課程			○	○			○	○	○				○									軍手
	団員指導員研修			○					○	○	○				○	○							軍手		
その他	女性防火クラブ員教育										○				○								軍手		
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上表中の○は、入校中必要となる携行品</li> <li>・ 必要教科書は、学校で斡旋</li> <li>・ 救助科は、救助服の左胸上部に所属名及び姓を表示すること。（縦4cm×横10cmの白布） また、警笛、小綱、カラビナ、ヘッドライト、安全帯、耳栓、防塵マスク（フィルタ付） エルボーパッド、ニーパッド及びフルボディハーネスを携行すること。</li> </ul>																								

別紙4

別記様式（第6条関係）

第 年 月 日  
令和 年 月 日

福井県消防学校長 様

〇〇〇〇消防（局）本部  
消防（局）長 〇〇〇〇

入 校 推 薦 書

下記のとおり入校させたいので、福井県消防学校の管理運営規則第6条の規定により推薦いたします。

記

1	教育訓練種類	教育	2	教育訓練期間	令和 年 月 日から
		科(第 期)			令和 年 月 日まで

3	所属部署所	(ふりがな)	生年月日 (年齢)	採用年月日	現階級任命 年 月 日	現職務
	階 級	氏 名				
入 校 者						

別紙4-2

別記様式（第6条関係）

第 令和 年 月 日 号

福井県消防学校長 様

〇〇〇〇消防（局）本部  
消防（局）長 〇〇〇〇

入 校 推 薦 書

下記のとおり入校させたいので、福井県消防学校の管理運営規則第6条の規定により推薦いたします。

記

1	教育訓練種類	初級幹部科	2	教育訓練期間	令和 年 月 日から
		指揮幹部科 ( 課程)			令和 年 月 日まで

3	所属部署所	(ふりがな)	生年月日	採用	現階級拝命	現職務	備考
	階 級	氏 名	(年 齢)	年月日	年月日		
入 校 者							

※令和26年度までの中級幹部科修了者、または指揮幹部科【現場指揮課程・分団指揮課程】修了者は、備考欄に修了課程名、修了年月日および修了番号を記入すること。

別紙5

第 令和 年 月 日 号

福井県消防学校長 様

〇〇〇〇消防（局）本部  
消防（局）長 〇〇〇〇

入 校 推 薦 書（公開講座用）

下記のとおり受講させたく推薦いたします。

記

1	併 設 教 育 訓 練 種 類	教 育 科(第 期)	2	開 催 日	令 和 年 月 日
---	--------------------	---------------	---	-------	-----------

3	所 属 部 署 所	階 級	(ふりがな) 氏 名	生 年 月 日 ( 年 齢 )	現職務
受 講 者					

別紙6

第 号  
令和 年 月 日

福井県消防学校長 様

〇〇〇〇消防（局）本部  
消防（局）長 〇〇〇〇

入 校 推 薦 書（一般教育用）

下記のとおり受講いたしたく推薦いたします。

記

1	教育訓練種類	教育 (第 回)	2	開 催 日	令和 年 月 日
---	--------	-------------	---	-------	----------

3	所 在 市 町	団 体 名	(ふりがな) 氏 名	現職務	備 考
受 講 者					



## 事例研究資料

消防（局）本部

氏名

教育訓練種類	事例区分
題 目	
要 旨	
<p>※ 作成にあたっては、問題に関する背景、現状、問題点等が十分に理解できるよう要点を詳細に記入し、自らの対応策も記載する。</p>	

- (注) 1 事故の事例研究資料は、グループ討議により発表することとなるので、問題点及び課題にかかる資料等必要なものは添付すること。
- 2 用紙規格は、A4使用
- 3 事例区分については、別添（事例区分一覧表）を参照のこと。

別 添

### 事 例 区 分 一 覧 表

教育訓練種類	事 例 区 分
初級幹部科	・人事管理事例      ・安全管理事例      ・特異災害事例 ・苦情事例      ・訴訟（法令を含む）事例
中級幹部科	・人事管理事例      ・安全管理事例      ・特異災害事例 ・苦情事例      ・訴訟（法令を含む）事例
警 防 科	・災害現場事例
予防査察科	・違反処理事例      ・査察事例      ・消防用設備設置指導事例 ・災害事例
危険物科	・危険物規制実務事例      ・違反処理事例      ・災害事例
火災調査科	・特異火災事例      ・調査書類作成事例      ・訴訟事例
救 急 科	・救急活動事例
通信指令科	・災害通信事例      ・苦情事例      ・口頭指導事例 ・情報管理事例

## 健康状況に関する申告書

次の表中にあてはまる所を○で囲んでください。

申 告 事 項									
既 往 症	高血圧	ない	ある ( 年頃)	現 在 の 体 調 等	動 悸	ない	ある		
	心臓病	ない	ある ( 年頃)		息切れ	ない	ある		
	糖尿病	ない	ある ( 年頃)		不整脈	ない	ある		
	肝臓病	ない	ある ( 年頃)		めまい	ない	ある		
	腎臓病	ない	ある ( 年頃)		胸 痛	ない	ある		
	眼 病	ない	ある ( 年頃)		耳鳴り	ない	ある		
	伝染性疾病	ない	ある ( 年頃)		腰 痛	ない	ある		
	その他 ( )	ない	ある ( 年頃)		その他 ( )	ない	ある		
現 在 の 病 気	病 名			身 長	cm				
	病名に係る医師からの指示事項等			体 重	kg				
				血 圧	最大	mmHg			
					最小	mmHg			
			測定 令和 年 月 日						
<p>上記のとおり相違ありません。</p> <p style="text-align: right;">令和 年 月 日</p> <p style="text-align: right;">所 属</p> <p style="text-align: right;">氏 名 <span style="float: right;">(印)</span></p>									

※上表で、現在の病気がある場合は医師の診断書を添付すること。（初任教育を除く）

## 食 事 注 文 表

消防(局)本部

教育科目

1 注文数 食分

2 費用負担別

 個人負担 公費負担

3 支払方法

 現金当日 振込後日

4 請求書・領収書の有無

(必要書類に○印表記)

団体(宛)名 \_\_\_\_\_ 円 請求書・領収書

- (注) 1 「注文数」、「費用負担別」、「支払方法」は、各所属総計および方法を記入すること。
- 2 受講者数と注文数が異なる場合は、注文者名簿を添付すること。ただし、注文の無い場合を除く。
- 3 「請求書・領収書の有無」は、個別(自治会単位等)発行も可能とする。

